



Scales: 2 cm

23 species of Japanese Gracilariaceae excluding a parasitic genus *Congracilaria*
 @2008 Japanese Society of Phycology

日本のオゴノリ科 (寄生藻属を除く)

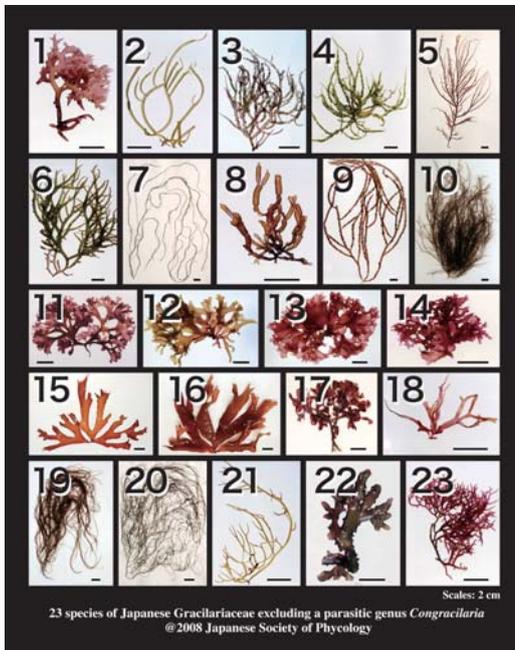
オゴノリ科は世界各地に分布し、食用や寒天の原料として採取・養殖される有用海藻である。日本で24種が知られており、フシクレノリ(写真8)に寄生するフシクレタケ *Congracilaria babae* Yamamoto を除く3属23種を掲載した。なお、本科の属レベルの分類は研究者によって見解が異なる。ここでは最新の報告に従い、オゴノリ属 *Gracilaria* とともに *Gracilariopsis* と *Hydropuntia* を属として扱った。

オゴノリ属(写真1-18)は、精子嚢が皿状か壺状を呈し、嚢果内部に横断糸を持つ点で区別される。円柱状(写真1-10)と葉状(写真11-18)の外形に分けられるが、系統的な関連は見られない。日本や韓国に生育するシラモ(写真6)の学名は、最近の報告で *Gracilaria parvispora* Abbott の名前が充てられた。東京湾で見られるベニオゴノリ(写真7)はツルシラモ(写真19)に似るが、壺状の精子嚢を持つ点で区別される。東京湾や伊豆半島で見られるシモダオゴノリ(写真9)はクビレオゴノリ(写真3)と混同されていたが、壺状の精子嚢を持つ点

で区別される。シンカイカバノリ(写真15)はカバノリ(写真16)に似るが、大型の髄層細胞と壺状の精子嚢を持つ点、生育水深が30 m前後と深い点で区別される。なお、ヒメクビレオゴノリ(写真2)は沖縄島より、ホソカバノリ(写真18)は種子島より日本新産として近年報告された。

Gracilariopsis(写真19-20)は、精子嚢が体表面に散在する型を呈し、横断糸を持たないことで区別される。セイヨウオゴノリ(写真20)は髪の毛のように密生する末端枝を持つが、日本産種については再検討を要する。*Hydropuntia*(写真21-23)は、精子嚢が多穴状を呈し、横断糸が嚢果下部に限定される点で区別される。モサオゴノリ(写真23)にはハワイに生育する *Gracilaria coronopifolia* J. Agardh の学名が充てられてきたが、精子嚢の構造が異なるため別種である。現在、東南アジアの近縁種を含めた分子系統解析を行っており、近い将来分類学的位置を確定する予定である。

(鹿児島大学水産学部 寺田竜太)



1. *Gracilaria arcuata* Zanardini ユミガタオゴノリ (沖縄県金武町, 生材料)
2. *Gracilaria articulata* Chang et Xia ヒメクビレオゴノリ (沖縄県金武町, 生材料)
3. *Gracilaria blodgettii* Harvey クビレオゴノリ (沖縄県金武町, 生材料)
4. *Gracilaria firma* Chang et Xia ナンカイオゴノリ (沖縄県金武町, 生材料)
5. *Gracilaria gigas* Harvey オオオゴノリ (静岡県南伊豆町, 押し葉標本)
6. *Gracilaria parvispora* Abbott シラモ (鹿児島県南九州市, 生材料, *Gracilaria bursa-pastoris* auct. japon.)
7. *Gracilaria rhodocaudata* Yamamoto et Kudo ベニオゴノリ (千葉県木更津市, 押し葉標本)
8. *Gracilaria salicornia* (C. Agardh) Dawson フシクレノリ (沖縄県金武町, 生材料)
9. *Gracilaria shimodensis* Terada et Yamamoto シモダオゴノリ (千葉県館山市, 生材料)
10. *Gracilaria vermiculophylla* (Ohmi) Papenfuss オゴノリ (鹿児島県出水市, 生材料, *Gracilaria verrucosa* auct. japon.; Basionym: *Gracilariopsis vermiculophylla* Ohmi オゴモドキ)
11. *Gracilaria cuneifolia* (Okamura) Lee et Kurogi キヌカバノリ (千葉県館山市, 押し葉標本, 北大理所蔵)
12. *Gracilaria incurvata* Okamura ミゾオゴノリ (鹿児島県鹿児島市, 生材料)
13. *Gracilaria punctata* (Okamura) Yamada イツツギヌ (鹿児島県南大隅町, 生材料)
14. *Gracilaria srilankia* (Chang et Xia) Withell, Millar et Kraft ムラサキカバノリ (鹿児島県中種子町, 生材料)
15. *Gracilaria sublittoralis* Yamada et Segawa シンカイカバノリ (和歌山県白浜町, 押し葉標本)
16. *Gracilaria textorii* (Suringar) Hariot カバノリ (鹿児島県長島町, 生材料)
17. *Gracilaria vieillardii* Silva トゲカバノリ (沖縄県八重瀬町, 押し葉標本)
18. *Gracilaria yamamotoi* Zhang et Xia ホソカバノリ (鹿児島県中種子町, 生材料)
19. *Gracilariopsis chorda* (Holmes) Ohmi ツルシラモ (大分県宇佐市, 生材料, Basionym: *Gracilaria chorda* Holmes)
20. *Gracilariopsis lemneiformis* (Bory) Dawson, Acleto et Foldvik セイヨウオゴノリ (高知県土佐市, 押し葉標本, Synonym: *Gracilaria lemneiformis* (Bory) Greville)
21. *Hydropuntia edulis* (Gmelin) Gurgel et Fredericq カタオゴノリ (沖縄県うるま市, 生材料, Synonym: *Gracilaria edulis* (Gmelin) Silva)
22. *Hydropuntia euheumatoides* (Harvey) Gurgel et Fredericq リュウキュウオゴノリ (沖縄県宮古島市, 生材料, Basionym: *Gracilaria euheumatoides* Harvey)
23. *Hydropuntia* sp. モサオゴノリ (鹿児島県指宿市, 生材料, *Gracilaria coronopifolia* auct. japon.)

機関名のない種の標本は(生材料は押し葉標本として)鹿児島大学水産学部所蔵